

はじめに

調査研究の背景 平成20年6月に行われた博物館法改正において、博物館運営に関する評価の努力義務規定が設けられ、全ての博物館において評価に前向きに取り組むことが期待されている。また、同法改正の際の国会の付帯決議において、評価の、透明性、客観性を確保する観点から、可能な限り、外部の視点を取り入れることが求められている。

このような状況を踏まえて、文部科学省は、「博物館評価制度等の構築に関する調査研究」の委託を日本博物館協会に対して、平成20年10月に行った。

日本博物館協会においては、近年公的施設に求められている説明責任を果たすうえでの自己評価の重要性に鑑み、平成17年度以来文部科学省の委託を受けて、各博物館がその事業運営の評価を行うに当たっての拠り所となる「評価基準(ベンチマーク)」の開発に努めてきた。

また、各博物館においても、自館の目的・使命をより明確にし、様々な方法やレベルで、自己評価を行い、自館の存在理由(レゾン・デトル)を明らかにしようとする努力が積み重ねられている。他方、博物館の設置者の立場から、博物館を維持する理由を説明するための評価を行う事例も増加している。

実態調査 そこで本調査研究においては、登録博物館・博物館相当施設・その他の主要博物館 1,498 館に対して、自己評価及び設置者評価の実施状況について詳細なアンケート調査を行い、1,044 館(69.7%)から回答を得た。この種の調査としての高率の回答は、博物館の評価に対する意識の高さを表すものである。

自己評価の調査に当たっては、外部者の参加の度合いに応じて、自館の職員が主体となっているもの(狭い意味での自己評価)、外部評価(外部者が主となっているもの)、第三者評価(評価内容の決定等を外部者が担っているもの)に分け、外部者の属性、評価の組織、実施の頻度、実施の理由、開始の時期等の調査を行った。

設置者による評価については、実施の頻度、開始の時期等について、両者に共通するものとして、結果の公表・活用の状況について調査を行った。

これらの調査結果の集計・分析を通じて、各館による評価の実施状況、今後進むべき実践的方向を示しえたと思う。さらに、本調査において見出された、評価の先行事例となる8館についてヒヤリングを行い、県博物館調整会議で意見交換して作成した評価シートによる評価、NPO 法人を活用した県民参加型の評価、館内博物館協議会を利用した評価、県教委経営品質推進者会議と連動した評価、指定管理者が経営する博物館の評価、企業博物館の内部評価等、タイプの異なる具体的な取り組みの状況を示した。

図書館・博物館の事例 また、同種の社会教育機関である神奈川県立図書館の数値目標を多用した活動評価、及び公民館活動の独自性を追及した福生市公民館の事業評価の紹介

を行った。

外国の事例 外国における事例としては、アメリカ博物館協会が行う要求度の高いアクレディテーション、連邦政府担当機関の支援を得て同協会が行う助言的色彩の強い博物館評価プログラム(MAP)、英国政府機関である博物館・文書館・図書館委員会が行っている、コレクションの管理、展示教育活動などの基礎的要件を重視し、小規模博物館から大規模の国立博物館を包含する評価制度、英国をモデルとして、各県に公費の支援を得て置かれ博物館アドバイザーが中核を担う博物館登録制度の紹介を行った。

自己点検システムのソフト開発 これまで日本博物館協会が、各博物館に対するアンケート調査によりその有効・妥当性をチェックしてきた、事業運営の主要領域ごとに細分化された点検項目について精選を行い、8領域110個目とした。この項目ごとの平成19年度の調査結果による該当状況を用いて、平均値をはじき出し、領域ごとに、それと自館の乖離の状況を把握し、自館の強み、弱みを認識できるようにした。そして、それをコンピュータの画面上に8角形で表示するソフトを開発した。これを、日本博物館協会のWeb画面に表示し、希望する館がインターネットを通じて操作できるようにし、そのための手引きも作成した。

評価者のためのガイドラインの作成 上で述べたこれまでの調査研究の成果を活用し、博物館の評価に当たる者のために、評価の意義、評価の具体的手順等を記した、自己評価、設置者評価を通じて活用できるガイドラインを作成した。

調査研究検討会議の設置 本調査研究に当たり、以下に記す検討会議(主査 安村敏信板橋区立美術館長)を設置した。多大の御尽力を賜った委員及びワ・キンググループの皆様は厚く御礼を申し上げます。

最後にではあるが、本調査研究に御支援、御指導いただいた文部科学省生涯学習政策局社会教育課の皆様は厚く感謝申し上げます。

本調査研究の成果が、今後ますます必要とされるより説得力のある博物館評価に寄与することを期待するものである。

平成21年3月

日本博物館協会